

「非認証車に対する排出ガス試験等の取扱いについて」の一部改正について

(傍線部分は改正部分)

平成3年6月28日地技第168号

最終改正：平成31年4月1日国自環第183号

改 正	現 行
<p>(ガソリン・LPG軽・中量車)</p> <p>1. ガソリン又は液化石油ガス(以下「LPG」という。)を燃料とする普通自動車及び小型自動車(二輪自動車(側車付二輪自動車を含む。以下同じ。)を除く。)であって、車両総重量3.5トン以下のもの又は専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下のもの(以下「乗用車」という。)並びに軽自動車(二輪自動車を除く。)に対する排出ガス試験の取扱い</p> <p>(1) 「道路運送車両法施行規則第36条第5項、第6項及び第7項の書面について」(平成3年6月28日付け地技第156号)(以下「書面通達」という。)記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表(以下「成績表」という。)の様式は、細目告示別添42軽・中量車排出ガスの測定方法(道路運送車両の保安基準第2章及び第3章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示(平成15年国土交通省告示第1318号。(以下「適用関係告示」という。)により細目告示別添42の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法)により測定した場合には、別添様式1とする。</p> <p>(2) 公的試験機関は、同一型式及び同一構造であると申告があった輸入自動車について、<u>当該自動車の輸入者から成績表の発行依頼があった場合</u></p>	<p>(ガソリン・LPG軽・中量車)</p> <p>1. ガソリン又は液化石油ガス(以下「LPG」という。)を燃料とする普通自動車及び小型自動車(二輪自動車(側車付二輪自動車を含む。以下同じ。)を除く。)であって、車両総重量3.5トン以下のもの又は専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下のもの(以下「乗用車」という。)並びに軽自動車(二輪自動車を除く。)に対する排出ガス試験の取扱い</p> <p>(1) 「道路運送車両法施行規則第36条第5項、第6項及び第7項の書面について」(平成3年6月28日付け地技第156号)(以下「書面通達」という。)記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、細目告示別添42軽・中量車排出ガスの測定方法(道路運送車両の保安基準第2章及び第3章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示(平成15年国土交通省告示第1318号。(以下「適用関係告示」という。)により細目告示別添42の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法)により測定した場合には、別添様式1とする。</p> <p>(2) 公的試験機関は、<u>成績表の発行を申請する者が同一型式及び同一構造であると申告した自動車(輸入自動車に限る。)</u>について、10台に1台</p>

には、申告内容が真正なものであることを確認し、それらの輸入自動車が同一型式及び同一構造であると認められる場合には、10台に1台の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

ただし、次の①及び②に掲げる要件に該当する自動車として(5)に規定するものについては、これらの試験を20台に1台の割合で行っても差し支えない。

① 設計・生産時に意図した仕向地における排出ガス対策に必要な措置が原産国の自動車メーカーで行われていること。

② 法律に基づいて設立された団体の指導の下で点検・整備が確実に行われており、かつ、排出ガス試験の成績が安定していること。

(3) 公的試験機関は、(2)の確認にあたり、必要に応じて現車提示等を求めることができるものとする。

(4) 公的試験機関は、(1)及び(2)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等(同一型式及び同一構造であると認められた自動車の場合は試験を行った自動車のもの)を成績表に添付するものとする。

(5) (2)の要件に該当する自動車は、外国自動車輸入協同組合、日本外国自動車輸入整備協同組合及び日本自動車輸入組合並びにこれらの各組合に属する者が本邦に輸入する自動車であって、設計・生産時に意図した仕向地における排出ガス対策に必要な措置が原産国の自動車メーカーにおいて行われているものとする。

(二輪自動車)

2. ガソリンを燃料とする二輪自動車に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、細目告示別添44二輪車排出ガスの測定方法(適用関係告示により細目告示別添44の測定方法が適用さ

の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

ただし、次の①及び②に掲げる要件に該当する自動車として(3)に規定するものについては、これらの試験を20台に1台の割合で行っても差し支えない。

① 設計・生産時に意図した仕向地における排出ガス対策に必要な措置が原産国の自動車メーカーで行われていること。

② 法律に基づいて設立された団体の指導の下で点検・整備が確実に行われており、かつ、排出ガス試験の成績が安定していること。

(新設)

(新設)

(3) (2)の要件に該当する自動車は、外国自動車輸入協同組合、日本外国自動車輸入整備協同組合及び日本自動車輸入組合並びにこれらの各組合に属する者が本邦に輸入する自動車であって、設計・生産時に意図した仕向地における排出ガス対策に必要な措置が原産国の自動車メーカーにおいて行われているものとする。

(二輪自動車)

2. ガソリンを燃料とする二輪自動車に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、細目告示別添44二輪車排出ガスの測定方法(適用関係告示により細目告示別

れないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法)により測定した場合には、別添様式2とする。

(2) 公的試験機関は、同一型式及び同一構造であると申告があった輸入自動車について、当該自動車の輸入者から成績表の発行依頼があった場合には、申告内容が真正なものであることを確認し、それらの輸入自動車が同一型式及び同一構造であると認められる場合には、10台に1台の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

(3) 公的試験機関は、(2)の確認にあたり、必要に応じて現車提示等を求めることができるものとする。

(4) 公的試験機関は、(1)及び(2)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等 (同一型式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自動車のもの) を成績表に添付するものとする。

(ディーゼル軽・中量車)

3. 軽油を燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、車両総重量 3.5 トン以下のもの又は乗用車に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、細目告示別添42軽・中量車排出ガスの測定方法(適用関係告示により細目告示別添42の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法)により測定した場合には、別添様式3とする。

(2) 公的試験機関は、同一型式及び同一構造であると申告があった輸入自

添42の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法)により測定した場合には、別添様式2とする。

(2) 公的試験機関は、成績表の発行を申請する者が同一型式及び同一構造であると申告した二輪自動車(輸入自動車に限る。)について、10台に1台の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

(新設)

(新設)

(ディーゼル軽・中量車)

3. 軽油を燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、車両総重量 3.5 トン以下のもの又は乗用車に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、細目告示別添42軽・中量車排出ガスの測定方法(適用関係告示により細目告示別添42の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法)により測定した場合には、別添様式3とする。

(2) 公的試験機関は、成績表の発行を申請する者が同一型式及び同一構造

動車について、当該自動車の輸入者から成績表の発行依頼があった場合には、申告内容が真正なものであることを確認し、それらの輸入自動車  
が同一型式及び同一構造であると認められる場合には、10台に1台の割合  
で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

(3) 公的試験機関は、(2)の確認にあたり、必要に応じて現車提示等を求めることができるものとする。

(4) 公的試験機関は、(1)及び(2)の排出ガス試験を行う自動車について、  
外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等  
(同一型式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自  
動車のもの)を成績表に添付するものとする。

(ガソリン・LPG重量車)

4. ガソリン又はLPGを燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、  
車両総重量3.5トンを超えるもの(乗用車を除く。)に対する排出ガス試験  
の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、「「シャシダイナモメータによるガソリン自動車13モード排出ガス測定方法」について」(平成9年5月13日国自環第114号)により測定した場合には、別添様式4とし、「「シャシダイナモメータによるJE05モード排出ガス測定方法」について」(平成19年3月16日国自環第280号)により測定した場合には、別添様式6とする。

(2) 公的試験機関は、(1)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び  
排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等(同一型  
式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自動車のも  
の)を成績表に添付するものとする。

であると申告した自動車(輸入自動車に限る。)について、10台に1台  
の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

(新設)

(新設)

(ガソリン・LPG重量車)

4. ガソリン又はLPGを燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、  
車両総重量3.5トンを超えるもの(乗用車を除く。)に対する排出ガス試験  
の取扱い

書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果  
を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、「「シャシ  
ダイナモメータによるガソリン自動車13モード排出ガス測定方法」につい  
て」(平成9年5月13日国自環第114号)により測定した場合には、別添  
様式4とし、「「シャシダイナモメータによるJE05モード排出ガス測定方  
法」について」(平成19年3月16日国自環第280号)により測定した場合  
には、別添様式6とする。

(新設)

(ディーゼル重量車)

5. 軽油を燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、車両総重量 3.5 トンを超えるもの（乗用車を除く。）に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記 2 に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、「「シャシダイナモメータによるディーゼル自動車 13 モード排出ガス測定方法」について」（平成 9 年 5 月 13 日国自環第 115 号）により測定した場合には、別添様式 5 とし、「「シャシダイナモメータによる JE05 モード排出ガス測定方法」について」（平成 19 年 3 月 16 日国自環第 280 号）により測定した場合には、別添様式 6 とする。

(2) 公的試験機関は、(1)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等（同一型式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自動車のもの）を成績表に添付するものとする。

6. ～8. (略)

9. 上記に定めた取扱いのほか、非認証車のうち輸入自動車である普通自動車及び小型自動車については、独立行政法人自動車技術総合機構法（平成 11 年法律第 218 号）第 13 条に基づく事務規程において、独立行政法人自動車技術総合機構が定めた取扱いによることができるものとし、非認証車のうち輸入自動車である軽自動車については、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）第 76 条の 30 に基づく検査事務規程において、軽自動車検査協会が定めた取扱いとすることができるものとする。

(以下略)

(ディーゼル重量車)

5. 軽油を燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、車両総重量 3.5 トンを超えるもの（乗用車を除く。）に対する排出ガス試験の取扱い

書面通達記 2 に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表の様式は、「「シャシダイナモメータによるディーゼル自動車 13 モード排出ガス測定方法」について」（平成 9 年 5 月 13 日国自環第 115 号）により測定した場合には、別添様式 5 とし、「「シャシダイナモメータによる JE05 モード排出ガス測定方法」について」（平成 19 年 3 月 16 日国自環第 280 号）により測定した場合には、別添様式 6 とする。

(新設)

6. ～8. (略)

9. 上記に定めた取扱いのほか、非認証車のうち輸入自動車である普通自動車及び小型自動車については、自動車検査独立行政法人法（平成 11 年法律第 218 号）第 13 条に基づく事務規程において、自動車検査独立行政法人が定めた取扱いによることができるものとし、非認証車のうち輸入自動車である軽自動車については、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）第 76 条の 30 に基づく検査事務規程において、軽自動車検査協会が定めた取扱いとすることができるものとする。

(以下略)

別添様式 1

自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日  
発行機関名  
(公的機関)

自動車車名型式  
自動車車台番号 (又はシリアル番号)  
自動車通関証明書証明番号  
試験自動車車台番号 (又はシリアル番号)

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添様式 2～6 (同上)

別添様式 7 (略)

別添様式 1

自動車排出ガス試験結果成績表

発行依頼者名 殿

発行年月日  
発行機関名  
(公的機関)

自動車車名型式  
自動車車台番号 (又はシリアル番号)  
自動車通関証明書証明番号  
試験自動車車台番号 (又はシリアル番号)

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添様式 2～6 (同上)

別添様式 7 (略)

制定 平成 3年 6月28日 地技第168号  
改正 平成12年12月27日自技第248号、自環第305号  
改正 平成15年10月1日国自技第148号、国自審第894号、国自環第130号  
改正 平成17年12月 8日国自環第192号  
改正 平成18年 9月29日国自環第139号  
改正 平成19年 8月30日国自環第 24号  
改正 平成22年 1月 6日国自環第212号  
改正 平成23年 3月31日国自環第205号  
改正 平成24年10月22日国自環第144号  
改正 平成27年 3月25日国自環第226号  
改正 平成31年 4月 1日国自環第183号

各運輸局自動車技術安全部長 殿  
沖縄総合事務局運輸部長 殿

自動車局環境政策課長

#### 非認証車に対する排出ガス試験等の取扱いについて

型式指定自動車、一酸化炭素等発散防止装置指定自動車、自動車型式認証実施要領別添2の新型届出による取扱いを受けた自動車及び輸入自動車特別取扱制度に基づく輸入自動車特別取扱を受けた自動車以外のもの（非認証車）に対する排出ガス試験等の取扱いについて、下記のとおり定めたので、今後はこれにより取り扱われたい。

なお、これに伴い、「ガソリン及び液化石油ガスを燃料とする並行輸入等の輸入自動車に対する排出ガス試験について」（昭和63年4月15日付け地技第97号）、「ガソリン及び液化石油ガスを燃料とする並行輸入等の輸入自動車に対する排出ガス試験について」（昭和63年4月15日付け地技第98号）及び「軽油を燃料とする並行輸入等の輸入自動車に対する排出ガス試験について」（昭和62年9月25日付け地技第223号）は廃止する。

記

（ガソリン・LPG軽・中量車）

1. ガソリン又は液化石油ガス（以下「LPG」という。）を燃料とする普通自動車及び小型自動車（二輪自動車（側車付二輪自動車を含む。以下同じ。）を除く。）であつて、車両総重量 3.5 トン以下のもの又は専ら乗用の用に供する乗車定員 10 人以下のもの（以下「乗用車」という。）並びに軽自動車（二輪自動車を除く。）に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 「道路運送車両法施行規則第 36 条第 5 項、第 6 項及び第 7 項の書面について」（平成 3 年 6 月 28 日付け地技第 156 号）（以下「書面通達」という。）記 2 に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての自動車排出ガス試験結果成績表（以下「成績表」という。）の様式は、細目告示別添 42 軽・中量車排出ガスの測定方法（道路運送車両の保安基準第 2 章及び第 3 章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示（平成 15 年国土交通省告示第 1318 号。以下「適用関係告示」という。）により細目告示別添 42 の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法）により測定した場合には、別添様式 1 とする。

(2) 公的試験機関は、成績表の発行を申請する者が同一型式及び同一構造であると申告があつた自動車輸入自動車について、当該自動車の輸入者から成績表の発行依頼があつた場合には、申告内容が真正なものであることを確認し、それらの輸入自動車が同一型式及び同一構造であると認められる場合には、10 台に 1 台の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。

ただし、次の①及び②に掲げる要件に該当する自動車として(5)に規定するものについては、これらの試験を 20 台に 1 台の割合で行っても差し支えない。

① 設計・生産時に意図した仕向地における排出ガス対策に必要な措置が原産国の自動車メーカーで行われていること。

② 法律に基づいて設立された団体の指導の下で点検・整備が確実に行われており、かつ、排出ガス試験の成績が安定していること。

(3) 公的試験機関は、(2)の確認にあたり、必要に応じて現車提示等を求めることができるものとする。

(4) 公的試験機関は、(1)及び(2)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等（同一型式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自動車のもの）を成績表に添付するものとする。

(5) (2)の要件に該当する自動車は、外国自動車輸入協同組合、日本外国自動車輸入整備協同組合及び日本自動車輸入組合並びにこれらの各組合に属する者が本邦に輸入する自動車であつて、設計・生産時に意図した仕向地における排出ガス対策に必要な措置が原産国の自動車メーカーにおいて行われているものとする。

(二輪自動車)

2. ガソリンを燃料とする二輪自動車に対する排出ガス試験の取扱い

- (1) 書面通達記 2 に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、細目告示別添 44 二輪車排出ガスの測定方法（適用関係告示により細目告示別添 44 の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法）により測定した場合には、別添様式 2 とする。
- (2) 公的試験機関は、同一型式及び同一構造であると申告があった輸入自動車について、当該自動車の輸入者から成績表の発行依頼があった場合には、申告内容が真正なものであることを確認し、それらの輸入自動車は同一型式及び同一構造であると認められる場合には、10 台に 1 台の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。
- (3) 公的試験機関は、(2)の確認にあたり、必要に応じて現車提示等を求めることができるものとする。
- (4) 公的試験機関は、(1)及び(2)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等（同一型式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自動車のもの）を成績表に添付するものとする。

(ディーゼル軽・中量車)

3. 軽油を燃料とする普通自動車及び小型自動車であって、車両総重量 3.5 トン以下のもの又は乗用車に対する排出ガス試験の取扱い

- (1) 書面通達記 2 に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、細目告示別添 42 軽・中量車排出ガスの測定方法（適用関係告示により細目告示別添 42 の測定方法が適用されないこととされている自動車について排出ガス試験を行う場合には、当該測定方法に代えて適用すべきものとして適用関係告示に定める測定方法）により測定した場合には、別添様式 3 とする。
- (2) 公的試験機関は、同一型式及び同一構造であると申告があった輸入自動車について、当該自動車の輸入者から成績表の発行依頼があった場合には、申告内容が真正なものであることを確認し、それらの輸入自動車は同一型式及び同一構造であると認められる場合には、10 台に 1 台の割合で(1)に掲げる測定方法により排出ガス試験を行うこととする。
- (3) 公的試験機関は、(2)の確認にあたり、必要に応じて現車提示等を求めることができるものとする。
- (4) 公的試験機関は、(1)及び(2)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等（同一型式及び同一構造であると認めた自動車の場合は試験を行った自動車のもの）を成績表に添付するものとする。

(ガソリン・LPG重量車)

4. ガソリン又はLPGを燃料とする普通自動車及び小型自動車であつて、車両総重量3.5トンを超えるもの(乗用車を除く。)に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、「「シャシダイナモメータによるガソリン自動車13モード排出ガス測定方法」について」(平成9年5月13日国自環第114号)により測定した場合には、別添様式4とし、「「シャシダイナモメータによるJE05モード排出ガス測定方法」について」(平成19年3月16日国自環第280号)により測定した場合には、別添様式6とする。

(2) 公的試験機関は、(1)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等(同一型式及び同一構造であると認められた自動車の場合は試験を行った自動車のもの)を成績表に添付するものとする。

(ディーゼル重量車)

5. 軽油を燃料とする普通自動車及び小型自動車であつて、車両総重量3.5トンを超えるもの(乗用車を除く。)に対する排出ガス試験の取扱い

(1) 書面通達記2に規定する「公的な試験機関において実施された試験結果を表す書面」としての成績表の様式は、「「シャシダイナモメータによるディーゼル自動車13モード排出ガス測定方法」について」(平成9年5月13日国自環第115号)により測定した場合には、別添様式5とし、「「シャシダイナモメータによるJE05モード排出ガス測定方法」について」(平成19年3月16日国自環第280号)により測定した場合には、別添様式6とする。

(2) 公的試験機関は、(1)の排出ガス試験を行う自動車について、外観及び排出ガス対策装置等を写真等により記録・保存し、当該写真等(同一型式及び同一構造であると認められた自動車の場合は試験を行った自動車のもの)を成績表に添付するものとする。

(型式認証車と同一の装置を有する自動車)

6. 装置型式指定を受けた一酸化炭素等発散防止装置と同一の構造・性能を有する装置を備えた自動車の取扱い

書面通達記2.(2)ロに規定する「同一であることをその装置の型式について指定を受けた者が証明した書面」の様式は、別添様式7とする。

(経過規定)

7. 道路運送車両の保安基準の一部を改正する省令(平成3年運輸省令第3号)第1条の規定の施行に伴う取扱い(1.及び3.の自動車に限る。)

公的試験機関において平成5年4月1日以降に排出ガス試験を受ける自動車については、10・15モード法が適用されるが、公的試験機関において、平成5年3月31

日以前に排出ガス試験を受けた自動車と同一型式及び同一構造である自動車であつて、1.(2)及び3.(2)の取扱いを受けようとするものについては、これらの取扱いにより、10モード法を適用しても差し支えない。

8. 新長期排ガス規制（平成 17 年排出ガス規制）の施行に伴う取扱い（1. の自動車に限る。）

公的試験機関において、平成 19 年 9 月 1 日以降製作される自動車に 10・15 モード法と 11 モード法によるコンバインモード法を適用する際、当該自動車が公的試験機関において平成 19 年 8 月 31 日以前に排出ガス試験を受けた自動車と同一型式及び同一構造である自動車であつて、1.(2)の取扱いを受けようとする場合には、これらの取扱いに係る 10・15 モード法と 11 モード法による試験結果から重み付けをして算出した値（NMHC の排出ガス値については、平成 15 年 9 月 30 日付け国自環第 133 号により取り扱うことができるものとする。）により判断しても差し支えない。

9. 上記に定めた取扱いのほか、非認証車のうち輸入自動車である普通自動車及び小型自動車については、独立行政法人自動車技術総合機構法（平成 11 年法律第 218 号）第 13 条に基づく事務規程において、独立行政法人自動車技術総合機構が定めた取扱いによることができるものとし、非認証車のうち輸入自動車である軽自動車については、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）第 76 条の 30 に基づく検査事務規程において、軽自動車検査協会が定めた取扱いとすることができるものとする。

別添様式 1 別添（軽・中量車排出ガス試験法成績表）（略）

別添（JC08H+JC08C モード法成績表）（略）

別添（10・15 モード+JC08C モード法成績表）（略）

別添（10・15 モード法成績表）（略）

別添（11 モード法成績表）（略）

別添（10 モード法成績表）（略）

別添様式 2 別添（二輪車モード法成績表）

別添（二輪車モード（コールドモード）法成績表）

別添（WMT Cモード）

別添様式 3 別添（軽・中量車排出ガス試験法成績表）（略）

別添（JC08H+JC08C モード法成績表）（略）

別添（10・15 モード+JC08C モード法成績表）（略）

別添（ディーゼル 10・15 モード法成績表）（略）

別添（ディーゼル 10 モード法成績表）（略）

別添様式 4 別添（ガソリン 13 モード法成績表）

別添様式 5 別添（ディーゼル 13 モード法成績表）

別添様式 6 別添 重量車排出ガス試験法成績表（JE05 モード法成績表）

別添様式 7

自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日  
発行機関名  
(公的機関)

自動車車名型式  
自動車車台番号 (又はシリアル番号)  
自動車通関証明書証明番号  
試験自動車車台番号 (又はシリアル番号)

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添

自動車排出ガス試験結果成績表 (10・15モード)

試験年月日 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_ 測定担当者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

車 両 諸 元

車名	型式	エンジン型式	最高出力	PS/rpm
車台番号	用途	サイクル	気筒	容積
走行杆数	km	変速機	手動	自動
車両総重量	kg	減速比	前進	段
試験自動車重量	kg	使用燃料		
等価慣性質量	kg			

試験装置

シャシダイナモメータ \_\_\_\_\_ CVS装置 \_\_\_\_\_

排出ガス分析計 \_\_\_\_\_ アイドリング排出ガス試験 \_\_\_\_\_

走行排出ガス試験 \_\_\_\_\_

1. アイドリング排出ガス試験

ギア位置 \_\_\_\_\_ N ・ D \_\_\_\_\_

大気圧 \_\_\_\_\_ mmHg 水温 \_\_\_\_\_ °C

室温 \_\_\_\_\_ °C 油温 \_\_\_\_\_ °C

湿度 \_\_\_\_\_ %

エンジン 回転数rpm	吸気圧 -mmg	測定値 (NDIR)			補正濃度	
		CO %	HC ppm	CO <sub>2</sub> %	CO %	HC ppm

2. 走行排出ガス試験

試験開始時期 時 分 終了時刻 時 分

大気圧 \_\_\_\_\_ mmHg 水温 \_\_\_\_\_ °C

室温 \_\_\_\_\_ °C 油音 \_\_\_\_\_ °C

湿度 \_\_\_\_\_ % シャシダイナモメータ負荷 \_\_\_\_\_ -mmHg (60km/h)

燃料消費量 \_\_\_\_\_ l/サイクル ( \_\_\_\_\_ kg/l)

成分	希釈排出ガス濃度 A	環境濃度 B	正味濃度 A - [B × (1 - 1/DF)]	排出重量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
HC (FID)	ppmc	ppmc	ppmc	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

NO<sub>x</sub> 湿度補正係数 (KH) \_\_\_\_\_

ATDC BTDC/rpm	ATDC						
◎備考	正規	無負荷回転速度 ( )	rpm・点火時期				BTDC/rpm
一酸化炭素等発散防止装置	種類 (個数)	三元触媒 ( )	酸化触媒 ( )	EGR ( )	エアポンプ ( )	リトバルブ ( )	O <sub>2</sub> センサ ( )

(注) 製作者名は、次の方法により記入すること。

- ① 原産国の自動車メーカーで行われている場合は、「メーカー純正」とする。
- ② ①以外の場合は、当該装置の製作者の名称 (略称でもよい) とする。

別添

自動車排出ガス試験結果成績表 (10 モード)

試験年月日 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_ 測定担当者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

車 両 諸 元

車名	型式	エンジン型式	最高出力	PS/rpm
車台番号	用途	サイクル	気筒	容積 cc
走行杆数	km	変速機	手動	自動
車両総重量	kg	減速比	前進	段
試験自動車重量	kg	使用燃料		
等価慣性質量	kg			

試験装置

シャンダイナモメータ \_\_\_\_\_ CVS装置 \_\_\_\_\_

排出ガス分析計 \_\_\_\_\_ アイドリング排出ガス試験 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 走行排出ガス試験 \_\_\_\_\_

1. アイドリング排出ガス試験

\_\_\_\_\_ ギア位置 \_\_\_\_\_ N ・ D \_\_\_\_\_

大気圧 \_\_\_\_\_ mmHg 水温 \_\_\_\_\_ °C

室温 \_\_\_\_\_ °C 油温 \_\_\_\_\_ °C

湿度 \_\_\_\_\_ %

エンジン 回転数rpm	吸気圧 -mmg	測定値 (NDIR)			補正濃度	
		CO %	HC ppm	CO <sub>2</sub> %	CO %	HC ppm

2. 走行排出ガス試験

試験開始時期 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 終了時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_

大気圧 \_\_\_\_\_ mmHg 水温 \_\_\_\_\_ °C

室温 \_\_\_\_\_ °C 油音 \_\_\_\_\_ °C

湿度 \_\_\_\_\_ % シャンダイナモメータ負荷 \_\_\_\_\_ -mmHg (40km/h)

燃料消費量 \_\_\_\_\_ l/サイクル ( \_\_\_\_\_ kg/l)

成分	希釈排出ガス濃度 A	環境濃度 B	正味濃度 A - [B × (1 - 1/DF)]	排出重量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
HC (FID)	ppmc	ppmc	ppmc	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

NO<sub>x</sub> 湿度補正係数 (KH) \_\_\_\_\_

ATDC  
BTDC/rpm

◎備考 正規 無負荷回転速度 ( ) rpm ・ 点火時期 \_\_\_\_\_

一酸化炭素等発散防止装置	種類 (個数)	三元触媒 ( )	酸化触媒 ( )	EGR ( )	エアポンプ ( )	リートバルブ ( )	O <sub>2</sub> センサ ( )

(注) 製作者名は、次の方法により記入すること。

- ① 原産国の自動車メーカーで行われている場合は、「メーカー純正」とする。
- ② ①以外の場合は、当該装置の製作者の名称 (略称でもよい) とする。

別添

自動車排出ガス試験結果成績表 (11 モード)

試験期日 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_ 測定担当者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

車 両 諸 元

車 名 \_\_\_\_\_ 型式 \_\_\_\_\_ エンジン型式 \_\_\_\_\_ 最高出力 \_\_\_\_\_ PS/rpm  
 車台番号 \_\_\_\_\_ 用途 \_\_\_\_\_ サイクル \_\_\_\_\_ 気筒 \_\_\_\_\_ 容量 \_\_\_\_\_ cc  
 走行杆数 \_\_\_\_\_ km 変速機 \_\_\_\_\_ 手動 \_\_\_\_\_ 自動 \_\_\_\_\_ 前進 \_\_\_\_\_ 段  
 車両総重量 \_\_\_\_\_ kg 減速比 \_\_\_\_\_  
 試験自動車重量 \_\_\_\_\_ kg 使用燃料 \_\_\_\_\_  
 等価慣性質量 \_\_\_\_\_ kg

試 験 装 置

シャシダイナモメータ \_\_\_\_\_ CVS 装置 \_\_\_\_\_  
 排出ガス分析計 \_\_\_\_\_

試 験 条 件

	試 験 開 始 時	試 験 終 了 時
時 刻	時 分	時 分
水 温	℃	℃
油 温	℃	℃
大 気 圧	mmHg	mmHg
室 温	℃	℃
湿 度	%	%

シャシダイナモメータ負荷 \_\_\_\_\_ -mmHg \_\_\_\_\_ km/h

試 験 結 果

成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正 味 濃 度 A - [B × (1 - 1/DF)]	排 出 量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/TEST
HC (FID)	ppmc	ppmc	ppmc	g/TEST
NOx (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/TEST
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/TEST

NOx 湿度補正係数 (KH) \_\_\_\_\_

◎備 考

無負荷回転速度 \_\_\_\_\_ rpm  
 点火進角度 \_\_\_\_\_ BTDC \_\_\_\_\_ % \_\_\_\_\_ rpm 触媒 \_\_\_\_\_ 有・無 \_\_\_\_\_

軽・中量車排出ガス試験成績 (10・15+11 モード排出ガス等)

試験機関

◎試験自動車

車名	型式						
原動機型式	最高出力	/					kW/min <sup>-1</sup>
車台番号	用途	サイクル	気筒	総排気量			L
走行杆数	km	変速機	前進				段
車両重量	kg	減速比					
車両総重量	kg	使用燃料	比重	-			(温度 - °C)
試験自動車重量	kg	駆動車輪タイヤ空気圧 (標準)					kPa
等価慣性重量	kg	駆動車輪タイヤ空気圧 (実測)					kPa

◎試験成績

○アイドリング測定

ギア位置	原動機回転速度 (min <sup>-1</sup> )	吸気マニホールド内圧力 ( -kPa)	濃 度	
			CO	HC
N			%	ppm
D			%	ppm

○重み付け排出量

	10・15モード	11モード	重み付け
CO	g/km	g/km	g/km
MNHC	g/km	g/km	g/km
NOx	g/km	g/km	g/km
PM	g/km	g/km	g/km

◎備 考

正規無負荷回転速度 (N) min<sup>-1</sup> 正規点火 (噴射) 時期 TDC

一酸化炭素等発散防止装置	種類	三元触媒	酸化触媒	O <sub>2</sub> センサー	EGR	エアポンプ	----
	(個数)	(---)	(---)	(---)	(---)	(---)	(---)
製作者名	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

10・15 モード排出ガス等試験結果

試験年月日 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_ 試験機関 \_\_\_\_\_

◎試験自動車

車名 \_\_\_\_\_ 型式 \_\_\_\_\_ 原動機型式 \_\_\_\_\_ 最高出力 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ kW/min<sup>-1</sup>

車台番号 \_\_\_\_\_ 用途 \_\_\_\_\_ サイクル \_\_\_\_\_ 気筒 \_\_\_\_\_ 総排気量 \_\_\_\_\_ L

走行キロ数 \_\_\_\_\_ km 変速機 \_\_\_\_\_ 前進 \_\_\_\_\_ 段

車両重量 \_\_\_\_\_ kg 減速比 \_\_\_\_\_

車両総重量 \_\_\_\_\_ kg 使用燃料 \_\_\_\_\_ 密度 \_\_\_\_\_ (温度 \_\_\_\_\_ °C)

試験自動車重量 \_\_\_\_\_ kg 駆動車輪タイヤ空気圧 (標準) \_\_\_\_\_ kPa 等価慣性重量 \_\_\_\_\_ kg 駆動車輪タイヤ空気圧 (実測) \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ \_\_\_\_\_

送風機 (車速比例型) \_\_\_\_\_

○排出ガス及び粒子状物質測定機器

排出ガス分析計: アイドリング測定用 \_\_\_\_\_

排出ガス分析計: モード測定用 \_\_\_\_\_ THC (FID)  $\gamma$  係数 \_\_\_\_\_

NMC-FIDメタン効率 \_\_\_\_\_ エタン効率 \_\_\_\_\_

CVS装置 \_\_\_\_\_ (採取量 \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)

希釈トンネル \_\_\_\_\_ 精密天秤 \_\_\_\_\_

◎フィルタソーク記録

試験前ソーク時間 \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分)

試験後ソーク時間 \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分)

秤量室内温度: 最大値 \_\_\_\_\_ °C ~ 最小値 \_\_\_\_\_ °C 秤量室内湿度: 最大値 \_\_\_\_\_ % ~ 最小値 \_\_\_\_\_ %

◎試験結果

○アイドリング測定

ギア位置	原動機回転速度 (min <sup>-1</sup> )	吸気マニホールド内圧力 (-kPa)	測定値 (NDIR)			濃度補正值	
			CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC
N			%	ppm	%	%	ppm
D			%	ppm	%	%	ppm

○排出ガス測定

運転開始時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 冷却水温度 \_\_\_\_\_ °C ~ \_\_\_\_\_ °C

試験室内乾球温度: 開始前 \_\_\_\_\_ °C ~ 終了後 \_\_\_\_\_ °C 潤滑油温度 \_\_\_\_\_ °C ~ \_\_\_\_\_ °C

試験室内湿球温度: 開始前 \_\_\_\_\_ °C ~ 終了後 \_\_\_\_\_ °C 希釈率 (DF) \_\_\_\_\_

試験室内相対湿度 \_\_\_\_\_ % 希釈排出ガス量 (V<sub>mix</sub>) \_\_\_\_\_ L/km

試験室内大気圧 \_\_\_\_\_ kPa 湿度補正係数 (KH) \_\_\_\_\_

燃費消費率 \_\_\_\_\_ km/L 排気管開口部静圧差 \_\_\_\_\_ kPa (70 km/h)

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-B(1-1/DF)	排出重量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
THC (HFID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	ppmC	ppmC		
CH <sub>4</sub> (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	
NMHC			ppmC	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○粒子状物質

PM捕集フィルタガス流速 \_\_\_\_\_ cm/s 測定中のPM捕集フィルタ差圧増加 \_\_\_\_\_ kPa

補正用フィルタの質量変化 \_\_\_\_\_  $\mu$ g

希釈排出ガス			希釈空気			正味濃度 A-B(1-1/DF)
捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 V <sub>p</sub>	濃度 A=PM <sub>p</sub> /V <sub>p</sub>	捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 V <sub>b</sub>	濃度 B=PM <sub>b</sub> /V <sub>b</sub>	
$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g/L
					排出量	g/km

◎備考

正規無負荷回転速度 (N) \_\_\_\_\_ min<sup>-1</sup> 正規点火 (噴射) 時期 \_\_\_\_\_ TDC

## 11 モード排出ガス等試験結果

試験年月日 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_ 試験機関 \_\_\_\_\_

◎試験自動車

車名	型式	原動機型式	最高出力	/	kW/min <sup>-1</sup>
車台番号	用途	サイクル	気筒	総排気量	L
走行キロ数	km	変速機	前進	段	
車両重量	kg	減速比			
車両総重量	kg	使用燃料	密度	-	(温度 - °C)
試験自動車重量	kg	駆動車輪タイヤ空気圧 (標準)			kPa 等価慣性重量
重量	kg	駆動車輪タイヤ空気圧 (実測)			kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ

送風機 (車速比例型)

○排出ガス及び粒子状物質測定機器

排出ガス分析計: モード測定用

THC (FID)  $\gamma$  係数

NMC-FIDメタン効率

エタン効率

CVS装置

(採取量 m<sup>3</sup>/min)

希釈トンネル

精密天秤

◎ソーク記録

ソーク室内温度 (退出前6時間の温度) °C ~ °C

ソーク時間 時間 (入室時分 ~ 退室時分)

冷却水温度 (放置後) °C 潤滑油温度 (放置後) °C

◎フィルタソーク記録

試験前ソーク時間 時間 (日 時 分 ~ 日 時 分)

試験後ソーク時間 時間 (日 時 分 ~ 日 時 分)

秤量室内温度: 最大値 °C ~ 最小値 °C 秤量室内湿度: 最大値 % ~ 最小値 %

◎試験結果

○排出ガス測定

運転開始時刻 時 分 希釈率 (DF)

試験室内乾球温度: 開始前 °C ~ 終了後 °C 希釈排出ガス量 (V<sub>mix</sub>) L/km

試験室内湿球温度: 開始前 °C ~ 終了後 °C 冷却水温度: 開始前 °C ~ 終了後 °C

試験室内相対湿度 % 潤滑油温度: 開始前 °C ~ 終了後 °C

試験室内大気圧 kPa 湿度補正係数 (KH)

排気管開口部静圧差 kPa (70 km/h)

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A-B(1-1/DF)	排出重量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
THC (HFID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	ppmC	ppmC		
CH <sub>4</sub> (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	
NMHC			ppmC	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○粒子状物質

PM捕集フィルタガス流速 cm/s 測定中のPM捕集フィルタ差圧増加 kPa

補正用フィルタの質量変化  $\mu$ g

希釈排出ガス			希釈空気			正味濃度 A-B(1-1/DF)
捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 V <sub>p</sub>	濃度 A=PM <sub>p</sub> /V <sub>p</sub>	捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 V <sub>b</sub>	濃度 B=PM <sub>b</sub> /V <sub>b</sub>	
$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g	L	$\mu$ g/L	$\mu$ g/L
					排出量	g/km

◎備考

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日

発行機関名

(公的機関)

自動車車名型式

自動車車台番号 (又はシリアル番号)

自動車通関証明書証明番号

試験自動車車台番号 (又はシリアル番号)

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添

ガソリン二輪車モード排出ガス試験結果成績表

試験実施年月日： 年 月 日 試験機関

◎車 両 諸 元

試験車両の種別：  
 車名・型式（類別）： 原動機型式： 最高出力： kW/min<sup>-1</sup>  
 車台番号： サイクル： 気筒数： 総排気量： L  
 変速機：自動式 半自動車式 足動式 前進 段  
 総走行距離： km 減速比：  
 車両重量： kg 使用燃料：  
 試験車両重量： kg 駆動車輪のタイヤ空気圧（諸元値）： kPa  
 等価性重量（設定値） kg "（実測値）： kPa

◎試験用装置

シャシダイナモメータ（DC/DY）：  
 送風機：  
 排出ガス分析計：アイドリング測定用： 二輪車モード測定用：  
 CVS装置：（CFV）（採取量： m<sup>3</sup>/min）

◎二輪車保管記録

保管時間： 時間（入室 日 時 分～退室 日 時 分）  
 保管室内温度： 入室時 °C ～ 退室時 °C  
 二輪車モード測定値（退室後）温室：冷却水温度 °C 潤滑油温度 °C

◎試験成績

○二輪車モード測定  
 運転開始時刻： 時 分 運転終了時刻： 時 分 希釈率（DF）：  
 試験室内乾球温度：運転開始前 °C～終了後 °C 希釈排出ガス量（V<sub>mix</sub>）： L/km  
 " 湿球温度：運転開始前 °C～終了後 °C 湿度補正係数（KH）：  
 " 相対湿度： % モード走行距離 km  
 " 大気圧： kPa 排気管開口部静圧差： kPa（50 km/h）  
~~シャシダイナモメータ設定負荷：~~

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A - [B × (1 - 1/DF)]	排出量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
HC (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○アイドリング測定

スパークプラグ座温度 °C 冷却水 °C 潤滑油温度 °C

原動機回転速度	吸気マニホールド 内圧力	測定濃度値(NDIR)			測定濃度補正值		変速ギ ア位置
		CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC	
min <sup>-1</sup>	-kPa	%	ppm	%	%	ppm	

◎排出ガス対策装置

排出ガス 対策装置	種 類					
	個 数					
	製作者名					

◎備 考

別添

ガソリン二輪車モード（コールドモード）排出ガス試験結果成績表

試験実施年月日： 年 月 日 試験機関

◎車 両 諸 元

試験車両の種別：  
 車名・型式（類別）： 原動機型式： 最高出力： kW(PS)/min<sup>-1</sup> (rpm)  
 車台番号： サイクル： 気筒数： 総排気量： L  
 変速機： 自動式 半自動車式 足動式 前進 段  
 総走行距離： km 減速比：  
 車両重量： kg 使用燃料：  
 試験車両重量： kg 駆動車輪のタイヤ空気圧（諸元値）： kPa  
 等価性重量（設定値） kg "（実測値）： kPa

◎試験用装置

シャシダイナモメータ（DC/DY）：  
 送風機（車速比例型、）：  
 排出ガス分析計：アイドリング測定用： 二輪車モード測定用：  
 CVS装置：（CFV）（採取量： m<sup>3</sup>/min）

◎試験車両ソーク記録

ソーク時間： 時間（入室 日 時 分～退室 日 時 分）  
 ソーク室内温度： 入室時 K（℃）～退室時 K（℃）  
 冷却水温度：（ソーク後） K（℃） 潤滑油温度 K（℃）

◎試験成績

○二輪車モード測定  
 運転開始時刻： 時 分 運転終了時刻： 時 分 希釈率（DF）：  
 試験室内乾球温度： K（℃）～ K（℃） 希釈排出ガス量（V<sub>mix</sub>）： L/km  
 " 湿球温度： K（℃）～ K（℃） 湿度補正係数（KH）：  
 " 相对湿度： % モード走行距離 km  
 " 大気圧： kPa 排気管開口部静圧差： kPa（50 km/h）  
 シャシダイナモメータ設定負荷：

排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A	希釈空気濃度 B	正味濃度 A - [B × (1 - 1/DF)]	排出量
CO (NDIR)	ppm	ppm	ppm	g/km
HC (FID)	ppmC	ppmC	ppmC	g/km
NO <sub>x</sub> (CLD)	ppm	ppm	ppm	g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	%	%	%	g/km

○アイドリング測定

スパークプラグ座温度 K（℃） 冷却水 K（℃） 潤滑油温度 K（℃）

原動機回転速度	吸気マニホー ルド内圧力	測定濃度値(NDIR)			測定濃度補正值		変速ギア位置
		CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC	
min <sup>-1</sup>	-kPa	%	ppm	%	%	ppm	

◎排出ガス対策装置

排出ガス対策装置	種類	
	個数	
	製作者名	

◎備 考

---



---



---

自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日

発行機関名

(公的機関)

自動車車名型式

自動車車台番号 (又はシリアル番号)

自動車通関証明書証明番号

試験自動車車台番号 (又はシリアル番号)

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添 [様式省略]

自動車排出ガス試験結果成績表 (ディーゼル 10・15 モード)

自動車排出ガス試験結果成績表 (ディーゼル 10 モード)

軽・中量車排出ガス試験成績表 (10・15+11 モード排出ガス等)

ディーゼル自動車 4 モード排気黒煙試験成績表

自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日  
発行機関名  
(公的機関)

自動車車名型式

自動車車台番号 (又はシリアル番号)

自動車通関証明書証明番号

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添

ガソリン自動車アイドリング及びシャシダイナモメータによる13モード排出ガス試験結果成績表

試験年月日 年 月 日 試験期間

◎試験自動車

車名・型式(類別) : \_\_\_\_\_ 原動機型式 : \_\_\_\_\_ 最高出力 : \_\_\_\_\_ kW/min<sup>-1</sup>  
 車台番号 : \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ 用途 \_\_\_\_\_ サイクル数 : \_\_\_\_\_ 気筒数 : \_\_\_\_\_ 総排気量 : \_\_\_\_\_ L  
 走行料数 : \_\_\_\_\_ km 給気冷却器の有無 : \_\_\_\_\_ 過給気の有無 : \_\_\_\_\_  
 車両重量 : \_\_\_\_\_ kg 変速機 : \_\_\_\_\_ (副変速機の有無: \_\_\_\_\_) 前進 段  
 車両総重量 : \_\_\_\_\_ kg 減速機の減速比 : \_\_\_\_\_  
 駆動車輪のタイヤ空気圧(緒元値) : \_\_\_\_\_ kPa 使用燃料 : \_\_\_\_\_ 密度 g/cm<sup>3</sup> (温度 °C)  
 " " (実測値) : \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ(DC/DY・送風機) : \_\_\_\_\_ 型  
 排出ガス分析計 : \_\_\_\_\_ 型  
 CVS装置(CFV) : \_\_\_\_\_ 型 (採取量 : \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)

◎最大軸トルク測定成績(エンジン回転数は、試験エンジンの最高出力時の回転数に対する割合を表す。)

運転開始時刻 : \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 試験室内大気圧 : \_\_\_\_\_ kPa

エンジン 回転数	目標回転数 (min <sup>-1</sup> )	測定回転数 (min <sup>-1</sup> )	制動トルク (N・m)	測定最大軸トルク (N・m)	総摩擦損失トルク (N・m)	冷却液温度 (°C)
40%						
60%						
80%						
正規の無負荷回転速度 : _____ min <sup>-1</sup>			点火時期 : _____ ° BTDC/min <sup>-1</sup>			

◎

G13モード運転状態における排出ガス試験成績

○アイドリング測定

運転開始時刻 : \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 試験室内大気圧 : \_\_\_\_\_ kPa  
 冷却液温度 : \_\_\_\_\_ °C 潤滑油温度 : \_\_\_\_\_ °C

エンジン回転数 (min <sup>-1</sup> )	測定値			濃度補正值	
	CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC
	%	ppm	%	%	ppm

◎備考

一酸化炭素等 発散防止装置	種類				
	個数				
	制作者名				

○CO<sub>2</sub> HC 等測定

運転開始時刻： \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

試験室内大気圧： \_\_\_\_\_ k p a

試験室内乾球温度：開始前 \_\_\_\_\_ °C ・ 終了後 \_\_\_\_\_ °C      冷却液温度：最大値 \_\_\_\_\_ °C ~ 最小値 \_\_\_\_\_ °C

試験室内湿球温度：開始前 \_\_\_\_\_ °C ・ 終了後 \_\_\_\_\_ °C

試験室内相対湿度：開始前 \_\_\_\_\_ % ・ 終了後 \_\_\_\_\_ %      湿度補正係数 (KH) : 最大値 \_\_\_\_\_ ~ 最小値 \_\_\_\_\_

運転モード	希釈排出ガス成分濃度(A)				希釈空気濃度(B)				正味濃度 {A-B(1-1)/DF}				希釈率 DF	希釈排出 ガス量 Vmix (L/h)	重み係数 WF					
	CO (ppm)	HC (ppmC)	NO <sub>x</sub> (ppm)	CO <sub>2</sub> (%)	CO (ppm)	HC (ppmC)	NO <sub>x</sub> (ppm)	CO <sub>2</sub> (%)	CO (ppm)	HC (ppmC)	NO <sub>x</sub> (ppm)	CO <sub>2</sub> (%)				CO (g/h)	HC (g/h)	NO <sub>x</sub> (g/h)	CO <sub>2</sub> (g/h)	
1															0.157					
2															0.036					
3															0.039					
4															0.157					
5															0.088					
6															0.117					
7															0.058					
8															0.028					
9															0.066					
10															0.034					
11															0.028					
12															0.096					
13															0.096					
備考 _____															排出量の合計					

○仕事率の測定

運転モード	エンジン回転数	エンジン負荷率	目標試験回転数 (min <sup>-1</sup> )	測定試験回転数 (min <sup>-1</sup> )	目標試験軸トルク (N・m)	測定試験軸トルク (N・m)	制動トルク (N・m)	総摩擦損失トルク (N・m)	重み係数 WF	仕事率 (KW)
1	アイドリング	無負荷							0.157	
2	40%	40%							0.036	
3	40%	60%							0.039	
4	アイドリング	無負荷							0.157	
5	60%	20%							0.088	
6	60%	40%							0.117	
7	80%	40%							0.058	
8	80%	60%							0.028	
9	60%	60%							0.066	
10	60%	80%							0.034	
11	60%	95%							0.028	
12	40%	20%							0.096	
13	40～20%	全閉							0.096	
備考									仕事率の合計	

◎排出ガス成分の平均排出量

○CO等の平均排出量 =  $\frac{\text{排出ガス成分の排出量の合計}}{\text{仕事率の合計}}$

排出ガス成分	CO	HC	NOx	CO <sub>2</sub>
平均排出量(g/kWh)				

自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日  
発行機関名  
(公的機関)

自動車車名型式  
自動車車台番号 (又はシリアル番号)  
自動車通関証明書証明番号

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添

シャシダイナモメータによるディーゼル自動車13モード排出ガス試験結果成績表

試験年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 試験期間 \_\_\_\_\_

◎試験自動車

車名・型式(類別) : \_\_\_\_\_ 原動機型式 : \_\_\_\_\_ 最高出力 : \_\_\_\_\_ kW/min<sup>-1</sup>

車台番号 :

\_\_\_\_\_ 用途 \_\_\_\_\_ サイクル数 : \_\_\_\_\_ 気筒数 : \_\_\_\_\_ 総排気量 : \_\_\_\_\_ L

走行料数 : \_\_\_\_\_ km 給気冷却器の有無 : \_\_\_\_\_ 過給気の有無 : \_\_\_\_\_

車両重量 : \_\_\_\_\_ kg 変速機 : \_\_\_\_\_ (副変速機の有無 : \_\_\_\_\_) 前進 \_\_\_\_\_ 段

車両総重量 : \_\_\_\_\_ kg 減速機の減速比 : \_\_\_\_\_

駆動車輪のタイヤ空気圧(緒元値) : \_\_\_\_\_ kPa 使用燃料 : \_\_\_\_\_ 密度 g/cm<sup>3</sup> (温度 °C)

〃 〃 (実測値) : \_\_\_\_\_ kPa

◎試験用機器

シャシダイナモメータ(DC/DY・送風機) : \_\_\_\_\_ 型

排出ガス分析計 : \_\_\_\_\_ 型

CVS装置(CFV) : \_\_\_\_\_ 型 (採取量 : \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>/min)

希釈トンネル装置 : \_\_\_\_\_ 型 精密天秤 \_\_\_\_\_ 型

◎最大軸トルク測定成績 (エンジン回転数は、試験エンジンの最高出力時の回転数に対する割合を表す。)

運転開始時刻 : \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 試験室内大気圧 : \_\_\_\_\_ kPa

エンジン 回転数	目標回転数 (min <sup>-1</sup> )	測定回転数 (min <sup>-1</sup> )	制動トルク (N・m)	測定最大軸トルク (N・m)	総摩擦損失トルク (N・m)	冷却液温度 (°C)
40%						
60%						
80%						
正規の無負荷回転速度 : _____ min <sup>-1</sup>			噴射時期 : _____ BTDC			

◎備考

一酸化炭素等 発散防止装置	種類					
	個数					
	制作者名					

○CO<sub>2</sub> HC 等測定

運転開始時刻： \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

試験室内大気圧： \_\_\_\_\_ k p a

試験室内乾球温度：開始前 \_\_\_\_\_ °C ・ 終了後 \_\_\_\_\_ °C

冷 却 液 温 度：最大値 \_\_\_\_\_ °C ~ 最小値 \_\_\_\_\_ °C

試験室内湿球温度：開始前 \_\_\_\_\_ °C ・ 終了後 \_\_\_\_\_ °C

試験室内相対湿度：開始前 \_\_\_\_\_ % ・ 終了後 \_\_\_\_\_ %

湿度補正係数 (KH) : 最大値 \_\_\_\_\_ ~ 最小値 \_\_\_\_\_

運 転 モ ー ド	希積排出ガス成分濃度(A)				希積空気濃度(B)				正味濃度 {A-B(1-1)/DF}				希積率 DF	希積排出 ガス量 Vmix (L/h)	重み係数 WF	CO (g/h)	HC (g/h)	NO <sub>x</sub> (g/h)	CO <sub>2</sub> (g/h)			
	CO (ppm)	HC (ppmC)	NO <sub>x</sub> (ppm)	CO <sub>2</sub> (%)	CO (ppm)	HC (ppmC)	NO <sub>x</sub> (ppm)	CO <sub>2</sub> (%)	CO (ppm)	HC (ppmC)	NO <sub>x</sub> (ppm)	CO <sub>2</sub> (%)										
1															0.205							
2															0.037							
3															0.027							
4															0.205							
5															0.029							
6															0.064							
7															0.041							
8															0.032							
9															0.077							
10															0.055							
11															0.049							
12															0.037							
13															0.142							
備 考 _____															排出量の合計							

○PM の総排出量測定（全量希釈トンネル法二段階希釈方式）

運転開始時刻： 時 分

試験室内大気圧： mmHg (kpa)

PM 捕集効率 ( $\eta$ ) %

試験室内乾球温度：開始前 °C ・ 終了後 °C

PM 捕集質量に対する補正

試験室内湿球温度：開始前 °C ・ 終了後 °C

補修用フィルタの質量変化  $\mu g$

試験室内相対湿度：開始前 % ・ 終了後 %

必要最小最捕集質量に対する割合： %

運転モード	C V S 流量 V <sub>mix</sub> (L/h)	希釈排出ガス サンプル流量 MV <sub>p</sub> (L/モード)	希 釈 比 D R	重み係数 W F	希釈排出ガスサンプル流 量の範囲に係る計算値 $\frac{MV_p}{TV_p \times WF}$	変 動 係 数 A
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

備 考

13モード全体のCVS流量 (TVmix) L/テスト

13モード全体の希釈排出ガスサンプル流量 (TVp) L/テスト

PMに係る希釈比の逆数の13モード全体における平均値 (1/DR)

13モード全体の変動係数 (B)

各運動モードの変動係数 (A (1) の範囲)

(B) × 0.95

(B) × 1.05

~

○捕集フィルタのソーク記録

試験前ソーク時間： 時間 ( 日 時 分 ~ 日 時 分)

試験後ソーク時間： 時間 ( 日 時 分 ~ 日 時 分)

秤量室内温度：最大値 °C ~ 最小値 °C 秤量室内湿度：最大値 % ~ 最小値 %

○PM総排出量

希 釈 排 出 ガ ス			希 釈 空 気			正 味 濃 度 A - { B × ( 1 - 1 / DR ) }	総 排 出 量
PM捕集質量 PM <sub>p</sub>	サンプル流量 TV <sub>p</sub>	P M 濃 度 A = PM <sub>p</sub> / TV <sub>p</sub>	粒子捕集質量 PM <sub>b</sub>	サンプル流量 TV <sub>b</sub>	粒子濃度 B = PM <sub>b</sub> / TV <sub>b</sub>		
μ g / テスト	L / テスト	μ g / L	μ g / テスト	L / テスト	μ g / L	μ g / L	g / h

備 考

○仕事率の測定

運転モード	エンジン回転数	エンジン負荷率	目標試験回転数 (min <sup>-1</sup> )	測定試験回転数 (min <sup>-1</sup> )	目標試験軸トルク (N・m)	測定試験軸トルク (N・m)	制動トルク (N・m)	総摩擦損失トルク (N・m)	重み係数 WF	仕事率 (KW)
1	アイドリング	無負荷							0.205	
2	40%	20%							0.037	
3	40%	40%							0.027	
4	アイドリング	無負荷							0.205	
5	60%	20%							0.029	
6	60%	40%							0.064	
7	80%	40%							0.041	
8	80%	60%							0.032	
9	60%	60%							0.077	
10	60%	80%							0.055	
11	60%	95%							0.049	
12	80%	80%							0.037	
13	60%	5%							0.142	

備考

仕事率の合計

◎排出ガス成分の平均排出量

$$\text{CO等}の平均排出量 = \frac{\text{排出ガス成分の排出量の合計}}{\text{仕事率の合計}}$$

排出ガス成分	CO	HC	NO <sub>x</sub>	CO <sub>2</sub>	PM
平均排出量(g/kWh)					

$$\text{PM}の平均排出量 = \frac{\text{PMの総排出量}}{\text{仕事率の合計}}$$

## 自動車排出ガス試験結果成績表

輸入者名 殿

発行年月日  
発行機関名  
(公的機関)

自動車車名型式

自動車車台番号 (又はシリアル番号)

自動車通関証明書証明番号

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

別添

重量車排出ガス試験成績 (シャシダイナモメータによる J E O 5 モード排出ガス等)

試験年月日 年 月 日 試験期間

◎試験自動車

車名・型式(類別) : 車台番号:
用途: 原動機型式: サイクル: 気筒: 走行
キロ数: km 総排気量: L 車両重量:
kg 最高出力: kW/min-1 最大トルク: N・m/min-1 (rpm) 等価慣性重量(設定値):
kg 変速機: 減速比:

駆動車輪のタイヤ空気圧: kPa 使用燃料: (密度)

◎排出ガスおよび粒子状物質の測定方法

排出ガス □希釈測定法 (CFV、PDP) □直接測定法

粒子状物質 □全流希釈法 (単段、二段) □分流希釈法 (全量捕集、部分捕集)

◎試験用装置

シャシダイナモメータ 型式
排出ガス分析計 型式 希釈
装置 全流希釈 型式 採取量設定値 m^3/min
分流希釈 型式 (1/サンプル率設定値)
精密天秤 型式

◎試験室および試験に関わる大気条件

測定開始時刻 時 分
試験室内大気圧(Pa) kPa 吸入空気温度(Ta) K (°C)
試験室内乾球温度(θ1) K (°C) 試験室内相対湿度(U) %
試験室内湿球温度(θ2) K (°C) 試験室内水蒸気圧(Pw) kPa
試天気条件係数 (F)

◎吸入空気圧力、排気圧力等の記録

吸入空気圧力 kPa
排気圧力 kPa
給気冷却器出口の空気温度 K (°C)

◎備考 正規 無負荷回転速度 (N) rpm・点火時期 B T D C /rpm

Table with 10 columns: 種類 (個数), 三元触媒, 酸化触媒, O2 センサー, EGR, エアポンプ, リードバルブ, DPF, その他. Includes a row for '一酸化炭素等発散防止装置' and a row for '製作者名'.

◎排出ガス試験成績

○アイドリングにおける排出ガス

測定開始時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
 エンジン回転速度 \_\_\_\_\_  $\text{min}^{-1}$  (rpm) 吸気マニホールド内圧力 \_\_\_\_\_ kPa

排出ガス成分	CO	HC	CO <sub>2</sub>
排出ガス中の濃度	%	ppm	%
濃度補正值	%	ppm	

○J E 0 5モードの測定試験における排出ガス

測定開始時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
 希釈排出ガス湿潤質量 (Mt<sub>totw</sub>) \_\_\_\_\_ kg  
 希釈率 (DF) \_\_\_\_\_ NO<sub>x</sub>の湿度補正係数 (KH) \_\_\_\_\_  
 メタン効率 (C<sub>EM</sub>) \_\_\_\_\_ エタン効率 (C<sub>EE</sub>) \_\_\_\_\_  
 F I Dの感度係数 (γ) \_\_\_\_\_  
 積算仕事量 (Wact) \_\_\_\_\_ kW・h

排出ガス成分	CO	THC	CH <sub>4</sub> (NMC-FID)	CH <sub>4</sub> (GC-FID)	NMHC	NO <sub>x</sub>	CO <sub>2</sub>
希釈排出ガス中の濃度	ppm	ppmC		ppmC	ppmC	ppm	%
希釈空気中の濃度	ppm	ppmC		ppmC	ppmC	ppm	%
補正濃度	ppm	ppmC		ppmC	ppmC	ppm	%
排出量	g/test	g/test	g/test		g/test	g/test	g/test
平均排出量	g/kw・h	g/kw・h			g/kw・h	g/kw・h	g/kw・h

備考 \_\_\_\_\_

◎粒子状物質の試験成績

○ J E 0 5 モードの測定試験における粒子状物質

測定開始時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
 フィルタ表面流速 \_\_\_\_\_ c m / s      測定中の捕集フィルタの圧力降下 \_\_\_\_\_ k Pa  
 積算仕事量 \_\_\_\_\_ k W · h

(全流希釈法による場合)

希釈排出ガス				希釈空気		排出量	
捕集質量	希釈排出ガスの湿潤質量	サンプル質量	捕集フィルタを通過した二次希釈排出ガスの質量	二次希釈空気の質量	捕集質量		サンプル質量
Mf	Mtotw	Msam	Mtot	Msec	Md	Mdil	PMmass
mg	kg	kg	kg	kg	mg	kg	g/test
						平均排出量	g/kw · h

(分流希釈法による場合)

捕集質量	サンプル率の平均値の逆数	サンプル質量	排出ガス質量の合計値	捕集フィルタを通過した希釈排出ガスの質量	希釈トンネルを通過した希釈排出ガス質量	排出量
Mf	1 / r <sub>s</sub>	Mse	Mew	Msep	Msed	PMmass
mg		kg	kg	kg	kg	g/test
					平均排出量	g/kw · h

◎捕集フィルタソークの記録

試験前ソーク時間 \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 )  
 試験後ソーク時間 \_\_\_\_\_ 時間 ( \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 )  
 秤量室内温度 最大値 \_\_\_\_\_ K (°C) ~ 最小値 \_\_\_\_\_ K (°C)      秤量室内湿度 最大値 \_\_\_\_\_ % ~ 最小値 \_\_\_\_\_ %

◎標準フィルタの質量変化

試験前① \_\_\_\_\_ μ g      試験前② \_\_\_\_\_ μ g      平均質量⑤ = (①+②) / 2 \_\_\_\_\_ μ g  
 試験後③ \_\_\_\_\_ μ g      試験後④ \_\_\_\_\_ μ g      平均質量⑥ = (③+④) / 2 \_\_\_\_\_ μ g  
 平均質量の差 | ⑤ - ⑥ | \_\_\_\_\_ μ g

備考 \_\_\_\_\_

重量車排出ガス測定試験（マッピング曲線測定記録等）

試験期日 年 月 日  
 エンジン型式

◎変換プログラムに用いる入力値

空車時車両重量 (W <sub>0</sub> )	k g	変速機ギヤ比 (i <sub>m</sub> )	1 速
大積載質量	k g		2 速
乗車定員	人		3 速
全高	m		4 速
全幅	m		5 速
タイヤ動的負荷半径 (γ)	m		6 速
			7 速
終減速機ギヤ比 (i <sub>f</sub> )			
アイドリングエンジン回転速度	min <sup>-1</sup> (rpm)		
最高出力エンジン回転速度	min <sup>-1</sup> (rpm)		
有負荷最高エンジン回転速度	min <sup>-1</sup> (rpm)		

最

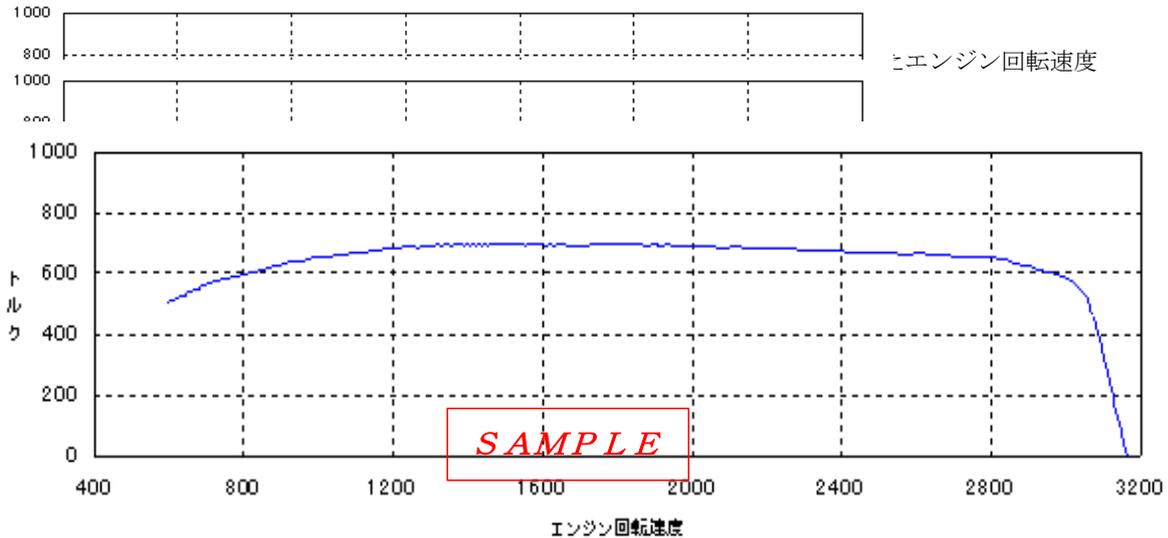
◎マッピングトルク曲線測定

運転開始時刻	月 日 時 分		
試験室内大気圧 (P <sub>a</sub> )	k Pa	吸入空気温度 (T <sub>a</sub> )	K (°C)
試験室内乾球温度 (θ <sub>1</sub> )	K (°C)	試験室内相対湿度 (U)	%
試験室内湿球温度 (θ <sub>2</sub> )	K (°C)	試験室内水蒸気圧 (P <sub>w</sub> )	k Pa
大気条件係数 (F)			

○マッピングトルク曲線の測定結果

5%正規化エンジン回転速度	min <sup>-1</sup> (rpm)
最高軸トルク時エンジン回転速度	min <sup>-1</sup> (rpm)
最高出力時エンジン回転速度:	min <sup>-1</sup> (rpm)

□ 最高出力時エンジン回転速度以下のエンジン回転速度の間の点



備考

証 明 番 号  
年 月 日

申請自動車の製作者等  
の氏名又は名称 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

排出ガス基準適合証明書

道路運送車両法施行規則第36条第6項の自動車であって、同条第7項の自動車以外の自動車である1.の申請自動車に備える一酸化炭素等発散防止装置は、2.の道路運送車両法第75条の2第1項の規定により装置の型式について指定を受けた一酸化炭素等発散防止装置と同一の装置・構造及び性能を有しており、道路運送車両法施行規則第36条第6項の規定に適合するものであることを証明します

記

1. 申請自動車  
 車名・型式 \_\_\_\_\_  
 車台番号（シリアル番号） \_\_\_\_\_  
 原動機の型式 \_\_\_\_\_  
 車両総重量\* \_\_\_\_\_

2. 指定を受けた一酸化炭素等発散防止装置

1. 型式指定番号			
2. 指定装置の名称及び型式			
3. 原動機の型式			
4. 指定製作者等の名称と所在地			
5. 排出ガス規制年区分	年規制		
6. 排出ガス値	CO	(g/kwh)	
	HC(NMHC)	(g/kwh)	
	NO <sub>x</sub>	(g/kwh)	
	PM	(g/kwh)	
7. その他	排出ガス対策説明書（別添）		
	標準車カ テゴリ*	カテゴリNO*	
		車両総重量の 範囲*	
	最大積載量* (T1又はT2に 限る。)		

注：\*が付された項目は、平成17年以降の規制に適合した装置に限り記入すること。

(発行責任者及び連絡先)

氏 名： \_\_\_\_\_ 印  
 所属及び職名： \_\_\_\_\_  
 電 話 番 号： \_\_\_\_\_  
 ファクシミリ： \_\_\_\_\_  
 e・m a i l： \_\_\_\_\_

別 添

(排出ガス対策説明書の例)

1. 一酸化炭素等発散防止装置の型式指定番号

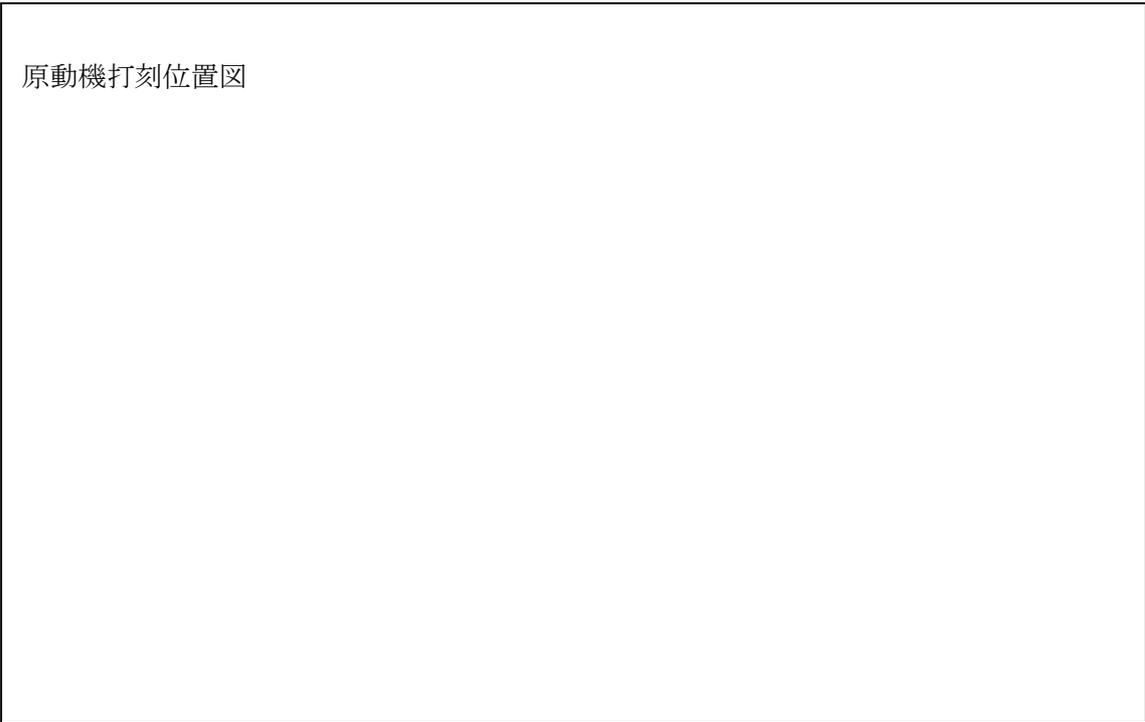
2. 一酸化炭素等発散防止装置の種類
- ・排気ガス再循環装置の装備 (図示)
  - ・DPF の装備 (図示)
  - ・車載式故障診断の装備 (図示)
  - ・その他

一酸化炭素等発散防止装置全体図



3. 原動機型式の打刻位置について

原動機打刻位置図



附 則〔平成18年9月29日日国自環第139号〕

この通達は、平成18年10月1日から施行する。ただし、3. 及び5. の規定のうち「車両総重量3.5トン」とあるのは、平成19年8月31日までの間は「車両総重量2.5トン」に読み替えて適用するものとする。

附 則〔平成19年8月30日日国自環第24号〕

別添様式6にあっては、細目告示第119第1項第1号、第3号及び第5号が適用されるものに適用する。